

1. 評価結果概要表

平成20年 7月 30日

【評価実施概要】

事業所番号	2070300450		
法人名	社会福祉法人 敬老園		
事業所名	グループホームうえだはら敬老園		
所在地	長野県上田市大字上田原1068番地 (電話) 0268-27-1165		
評価機関名	株式会社福祉経営サービス研究所 サービス評価推進室		
所在地	長野県松本市深志3丁目7番17号		
訪問調査日	平成20年7月29日	評価確定日	平成20年8月16日

【情報提供票より】(20年 7月 11日 事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 14年 4月 1日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	6 人	常勤6人	非常勤0人 常勤換算6人

(2) 建物概要

建物構造	鉄筋コンクリート 造り	
	2 階建ての	2 階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	55,000 円	その他の経費(月額)	29,000 円
敷 金	無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	無	有りの場合 償却の有無	無
食材料費	朝食	300 円	昼食 500 円
	夕食	400 円	おやつ 円
	または1日当たり		1,200 円

(4) 利用者の概要 (7月 11日 現在)

利用者人数	9 名	男性 2 名	女性 7 名
要介護1		要介護2	1名
要介護3	3名	要介護4	5名
要介護5		要支援2	
年齢	平均 89 歳	最低 72 歳	最高 99 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	うえだはらライフクリニック ・医療法人友愛会 千曲壮病院 ・日新堂医院 ・佐藤医院 ・医療法人あさじ整形外科 ・飯島医院 ・五野医院 ・小諸厚生病院
---------	---

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

ホームは上田原丘陵地に立ち並ぶ民家の中に建ち、近隣には上田創造館や緑豊かな公園があり活用されている。社会福祉法人敬老園を母体に持ち養護老人ホームやデイサービス・訪問介護・訪問看護(ステーション)等が併設しており、連携した取り組みが行われている。特にデイサービスとの日常的な連携により地域の方々とのふれ合いが図られている。母体理念を基に更に生活に密着し具体化した理念を入居者・職員全員により作られている。全職員が明るく入居者に優しい心と笑顔をもって接し、尊厳を大切にされた対応に努められている。職員の献身的な支援により、それぞれの趣味活動や役割を見出し生き生きと過されている。なお入居者の重度化に伴う「看取り」についての「指針」が定められており、入居者、ご家族と話しあい、方針の共有を図りご家族・医師・職員との連携により安心した終末期を迎えられている。

【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4) 各医療機関との情報の共有をはかり緊急時にも適切な医療が受けられるよう支援されている。なお終末期のあり方について、早い段階から入居者・ご家族と話し合い、方針の共有を図り医師、職員と連携を密にした対応がされている。全職員及び関係者の協力のもと改善が図られている。
	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) 職員全員で評価の意義や目的について話し合わせ、全職員で自己評価が行われている。外部評価の結果を職員会議で話し合わせ、サービスの質の向上に努められている。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6) 事業所より年度の事業計画や活動報告等の説明が行われると共に、前年度よりの要望、提案について提示(地域の幼稚園児との交流や行事等参加の折、車椅子付き添いボランティアの必要性について等)され、出席者全員による活発な意見交換がおこなわれている。
	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8) 契約時に事業所より市町村の苦情窓口の説明をされると共に、運営推進会議や家族会出席の折りやご家族面会時に気軽に意見が出せる場面づくりに配慮されている。(ホーム内には意見箱も設置)出された意見、要望等を受け止め職員間で話し合わせ、運営や日頃のケアサービスに反映されている。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) 地区の行事参加や公共施設の催しに積極的に参加されると共に地域の幼稚園との交流会を楽しまれたり、小中高生のボランティアの受け入れもあり、交流が図られている。なお毎日の楽しい外出(散歩・買い物)により地域の方々との出会いや交流をもたれている。なお併設のデイサービスに出向き地域の方々や通所して来られる友人との交流を楽しみにされている。

2. 評価結果 (詳細)

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
1. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	法人の理念に加え、入居者、職員により話し合わせ作りあげられたホーム独自の具体化された理念を作りあげている。解りやすい大きな筆文字で書かれ共用空間の入り口(わかり易い位置)に掲示されている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	ホーム理念は、毎日の朝礼時や引継ぎ時に唱和し、理念の共有を図り意識を確認して日々のケアに取り組まれている。(入居者の中には習字クラブへ通っている方が理念を書かれ、理解をするとともに安心に繋がっている)		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地区の行事参加(盆踊りや夏祭り、公共施設の催し等)すると共に近隣の幼稚園との交流や近隣の小中高生による、ボランティアも積極的に受け入れると共に、隣接の養護老人ホームの利用者と花道・書道等の活動を通しての交流等、地域の方々との交流に努められている。またホームからは広報も配布されて情報を発信し、地域の方々との交流源となっている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	職員会議において評価の意義や目的について話し合わせ、全職員で自己評価をされている。なお外部評価の結果を踏まえ、全職員で話し合い改善に向けた検討が行われ実践に向けた取り組みにより、日々のケアサービスの質の向上に努められている。		

グループホームうえだはら敬老園

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待 したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>会議には入居者、ご家族、地域住民、市町村関係者等の出席により、質問・応答・助言・提案がされている。事業所より年度の事業計画や活動報告等の説明が行われると共に、前年度よりの要望、提案について提示され、出席者全員による活発な意見交換が行われ、より質の高いサービスの提供に向けた取り組みに努められている。</p>		
6	9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>市の担当者と連携を図り、ホーム入居者の健康診断を地域住民の一員として市で行われている健康診断を活用できるよう配慮された。なお防災の件についても市に相談掛けがされている。</p>		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>ご家族面会時や毎月発行しているホーム便り等により入居者の近況報告がされている。なお入居者の特変事にはどんな些細なことでも速やかに連絡をとることで、ご家族の安心に繋がられている。ご家族訪問時に金銭出納帳を閲覧していただき、確認印を頂いている。</p>		
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>ホーム各所に意見箱を設置して、ご家族の意見・不満等の表出に配慮されている。なお運営推進会議や家族会開催の折にご家族の意見・要望等が表出できる機会があり、出された意見・要望等を受け止め職員間で話われ、運営や日頃のケアサービスに反映されている。</p>		
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>運営者は職員の働きやすい職場づくりに努められ、離職を最小限に抑えるための努力がされている。やむを得ず職員の異動や離職があった場合には、研修期間を設け職員のパートナー制(新入職員に経験と専門性を持ち合わせた職員が一对一で相談指導に当たる)を活用し、入居者が安定した生活が送れるよう配慮がされている。</p>		

グループホームうえだはら敬老園

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待 したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>職員の経験と力量に合わせ、法人内外の研修に積極的に参加できるよう配慮されている。(長野県の実践研修、地域の認知症研修、リーダー研修等)</p>		
11	20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>長野県連絡会主催の学習会に参加され、職員間の交流により情報交換が行われている。また地域の他の同業者との交流の機会が得られている</p>		
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>入居者・ご家族が安心してサービスを利用できるよう入居者の状態に合わせ日帰り体験(ホームでの生活に参加)により馴染みの関係づくりに配慮されている。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>入居者の住み慣れた地域の習慣や風習を周知し、職員間で共有を図ると共に、入居者の長い人生の経験から学ぶ姿勢を大切にされ、ともに支えあう関係づくりに配慮されている。</p>		

グループホームうえだはら敬老園

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待 したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>入居者の日々の関わりの中より希望や意向の把握に努められ、一人ひとりのペースで生活が送れるよう支援されている。</p>		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>介護計画作成にあたり職員全員で話し合い日々の関わりの中より把握された入居者の意向や訴え及びご家族の要望等が反映された介護計画書が作成されている。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>介護計画は三ヶ月に一回の見直しが行われていると共に、入居者に状態変化が見られた場合には入居者・ご家族と話し合い要望を組み入れた計画書の見直しがされている。</p>		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々のご要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>ご家族が遠方に居られる方への通院介助や入居者の趣味活動(市のダンス教室)への付き添い等柔軟な対応による支援もされている。なおご家族がホームへ宿泊できる用意も整えられている。</p>		

グループホームうえだはら敬老園

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待 したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>入居者・ご家族の希望によるかかりつけ医で診察が受けられている。各医療機関からの情報の共有をはかり、緊急時にも適切な医療が受けられるよう支援されている。(月1回の訪問診療も受けられている)</p>		
19	47	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>入居者の健康状態の重度化に伴う「看取り」についての「指針」が定められており、看取り介護に関する同意書も用意されている。早い段階から入居者・ご家族に終末期のあり方についてお話し、方針の共有を図り医師、職員との連携を密にした対応により入居者が安心した終末期を迎えられたことを伺った。</p>		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>入居者一人ひとりを人間として尊重し、尊厳を大切にして日々のケアに努められている。また日頃より個人情報の取り扱いには注意してあたり、保護の徹底が図られている。</p>		
21	52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>職員側の都合を優先するのではなく、入居者の声を引き出す配慮により、思いや希望をキャッチして実現に向けた支援に努められている。(ダンス教室への付き添い、書道、花道、入浴時間、入居者が望まれる理容・美容院への個別支援等)なお一人ひとりのペースを大切にした支援がされている。</p>		

グループホームうえだはら敬老園

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待 したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	入居者が希望されるメニューや体調にあわせたメニューを取り入れ、職員と一緒に準備、片付けが行われている。お食事時には職員と共に同じテーブルにつき、見守りの支援を得ながら楽しそうに食事をされている。なお、お誕生日・行事食・外出時の食事にも工夫されていることを伺った。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入居者の希望や体調にあわせた入浴支援が行われている。入浴時間・回数は午後2時から(以前は夜間も実施されていた)概ね週2回(希望者又は必要に応じ、清潔保持のため毎日)		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	入居者の生活歴や力量に合わせた支援が行われている。(調理の下ごしらえや盛り付け、食後の片付け、食器拭き、洗濯物たたみ、縫い物等の役割や花道、書道、ダンス教室、併設のデイサービスに訪問し馴染みの仲間との会話等の楽しみごと、なお日々の散歩や買い物、地域の行事参加等の気晴らしの支援等)		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	日常的な散歩や買い物時、通いのダンス教室等の外出支援がされている。今後更に外出できる機会づくりに配慮されていかれる旨を伺った。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	ホームは2階フロアーにあり外出には階段・エレベーター使用となっている。入居者は高齢者が多く、また身体機能的にみてエレベーター使用は困難が見られるため、入居者の安全を考慮してご家族と話し合いのもと、エレベーターの施錠について了解が得られていることを伺った。(外出志向が見られる方には付き添いの支援がされている)		

グループホームうえだはら敬老園

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待 したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>年2回の防災訓練が実施されており、マニュアルが作成されている。職員2名による聞き取りの折にも非常時における避難場所についても伺うことができた。</p>		<p>ホームには何らかの介護と支援を必要とする入居者が居住されており、安全に避難して頂く為に地域住民による協力体制を築かれることを期待します。</p>
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>入居者の身体状況を把握されており、一人ひとりにあった(形態)食事、水分摂取に配慮がされている。なおバランスの良い栄養摂取に向け併設の栄養士に相談がけがされている。</p>		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>玄関には季節の花が飾られ、共用空間一杯に食欲を誘う匂いが広がり、テレビ音等より季節感と生活観が感じられ家庭的な雰囲気がかもだされている。ホールで同居者とお話をしながら過ごされている方、居室のベットでゆったりと過ごされている方等思いのペースで居心地良く過ごされている。</p>		
30	83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>居室には住み慣れた家より持ち込まれた仏壇や家族写真、手作りの品等が飾られ入居者一人ひとり思い思いの居心地の良い居室づくりに工夫がされている。</p>		

は、重点項目。

WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票(様式1)を添付すること。